

令和7（2025）年度
地域連携センター活動報告書
（廿日市市との包括的連携協定外の活動）



山陽女子短期大学

地域連携センター

令和7年度 山陽女子短期大学地域連携センター事業一覧
(廿日市市との包括的連携協定外の活動)

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
1	626 ヤング街頭キャンペーン	7月	広島県西部保健所生活衛生課	有吉	
2	学ぼう大学 脱水症及び熱中症について	7月	広島市坪井公民館	吉村	○
3	鮮度保持袋性能調査	9月～11月	広島県循環型社会課	有吉	○
4	あいプラザまつり	11月	廿日市市食生活推進員	津村	
5	廿日市記念病院 病院祭	11月	廿日市記念病院	吉村	

事業報告

【1】

薬物乱用防止「626ヤング街頭キャンペーン」

(食物栄養学科)有吉 邦江

活動の目的	広島県西部保健所が実施する薬物乱用防止キャンペーンへの協力
大学側の目的	地域貢献、学生の経験
共催団体名および共催の経緯	広島県西部保健所から協力依頼があった。
活動年月日・時間	2025年7月12日 11:00~12:30
活動の拠点	ゆめタウン廿日市 (廿日市市下平良二丁目2番1号)
活動の対象者	来場者
対象者人数	53名
参加学生人数	2名 (人間生活学科2年)
活動内容	話題となっているエトミデート (俗称: ゾンビたばこ) を始め、覚せい剤、大麻といった薬物の乱用防止を目的に、毎年6月20日から7月19日までの「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間中、全国でキャンペーンが実施されている。広島県西部保健所がヤングボランティアを中心として行われた「626ヤング街頭キャンペーン」に参加し、薬物乱用防止と国連支援募金を呼びかけた。
所感	お客様への呼びかけには抵抗感もあったと考えるが、それぞれが頑張って呼びかけ、全体で24,334円の募金が集まった。 【参考: 広島県庁 HP 内西部厚生環境事務所・保健所サイト関係記事 URL】 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/168/626campaignh07.html



【2】

学ぼう大学 夏の健康管理

(食物栄養学科)吉村 真奈美

活動の目的	脱水の仕組みと対処について 地域（広島市佐伯区）に発信 脱水症及び熱中症について講義
大学側の目的	地域連携（広島市）
共催団体名および 共催の経緯	広島市佐伯区 坪井公民館
活動年月日・時間	2025年7月16日 13:30～15:00
活動の拠点	坪井公民館
活動の対象者	65歳以上高齢者
対象者人数	20名
参加学生人数	なし
活動内容	夏の気をつけたい脱水・熱中症について ～水分不足度チェックも行いながら～ 以下の内容で講義を行う ①水と水分の違い ②体液のはたらき ③かくれ脱水 ④最適な水分補給について 種類・飲水のタイミング・量 ⑤脱水について ⑥脱水チェック法 舌・皮膚・握手・ツルゴール・爪 ⑦高齢者の脱水の原因 身体的特徴 ⑧1日の水分量の1/2は食事から ⑨筋肉と水分の関係 筋肉を維持することの重要性 熱中症のキーワード；暑熱順化 深部体温 手掌冷却法
所感	20名の参加者皆さん真剣に学ばれていた。途中休憩を5分間とり、無理のないように配慮した。90分の講義であったので、クイズを4問入れ、聞きやすい声、間を意識して講義を行った。質問も5問出て、熱中症、脱水症への興味関心度が高いことが理解できた。

【3】

鮮度保持袋性能調査

(食物栄養学科)有吉 邦江

活動の目的	広島県が実施する令和7年度事業「食品ロス削減月間（10月）から実施する集中的な取組」への協力
大学側の目的	地域貢献、学生の経験
共催団体名および共催の経緯	広島県が実施する令和7年度事業「食品ロス削減月間（10月）から実施する集中的な取組」への協力
活動年月日・時間	2025年9月～11月
活動の拠点	山陽女子短期大学
活動の対象者	1名
対象者人数	1名
参加学生人数	鮮度保持袋の無料配布については、食物栄養学科2年3名が協力
活動内容	<p>広島県が実施する「食品ロス削減月間（10月）から実施する集中的な取組」の一環として実施される鮮度保持袋の性能評価（官能調査、ガス調査、細菌等の調査）を行った。（もやし、ホウレンソウなどで実施）</p> <p>この結果を参考に広島県は、家庭で最も食品ロスになりやすい食材である野菜類の食品ロス削減のため、令和7年9月28日～11月30日の間、鮮度保持袋の無料配布を実施した。</p> <p>なお、初日の9月28日に、食物栄養学科2年3名が、フレスタ廿日市住吉店で鮮度保持袋の配布を行った。</p>
所感	<p>広島県は、一定の性能が認められた結果について県HPで紹介している。性能は野菜類の種類により異なり、必ずしも有効とはいえないものもあった。</p> <p>【参考：広島県庁HP内鮮度保持袋紹介サイトURL】</p> <p>https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/food-waste-loss/yasai.html</p>

【4】

あいプラザまつり 健康コーナー 体験型食事チェック

(食物栄養学科)津村 なみえ

活動の目的	地域住民の健康増進
大学側の目的	連携と地域貢献
共催団体名および共催の経緯	主催：廿日市市健康福祉総務課 経緯：2025 年度 廿日市市食生活改善推進員 会長 山下様から依頼。 健康づくり係管理栄養士竹森千晶様コーディネート。 共催：広島県栄養士会広島西支部 経緯：栄養士会運営委員として 2026 年度より共催に組み入れた。
活動年月日・時間	2025 年 11 月 3 日 9：30～13：00
活動の拠点	山崎本社 みんなのあいプラザ 2F
活動の対象者	廿日市市民
対象者人数	150 名
参加学生人数	なし
活動内容	「第 20 回あいプラザまつり」にて、食育 SAT システムによる食事バランスチェックを実施。廿日市市食生活推進員の方との協力で実施し、バランスチェック結果のプリントアウト、解説場所を設けての解説も行った。
所感	あいプラザまつり全体の来場者も多かったようで、バランスチェックも絶え間なく対応が必要となるほどの活況であった。家族連れの参加者も多く、子供から成人、高齢者まで幅広い年齢層であった。



【5】

廿日市記念病院 病院祭

(食物栄養学科) 吉村 真奈美

活動の目的	医療機関・一般企業・教育機関の連携による地域交流イベントを通じ、地域住民の健康増進、多職種／他職種連携の一助のなることを目指す
大学側の目的	教育機関として、また、食物栄養学科として、地域住民の健康増進につなげる
共催団体名および共催の経緯	廿日市記念病院 担当者：梅田様からの学生ボランティア依頼
活動年月日・時間	2025年11月16日
活動の拠点	廿日市陽光台 廿日市記念病院内
活動の対象者	地域住民
対象者人数	全体として400名以上 担当ブースでは108名
参加学生人数	2名（食物栄養学科2年）
活動内容	<p>通所デイが行う「体組成チェック」のブースで、参加者の受付、および身長測定の手伝い、体組成チェック時の消毒業務、結果の印刷物渡し、結果についての説明及び栄養指導を行う。</p> <p>学生2名と吉村が担当し、108名の参加者であった。</p> <p>地域住民の方、デイサービスに通われているご本人やご家族など、筋肉量が測定されることもあり、皆さん興味をもって参加して下さり、結果についても真剣に聞き入っておられた。たんぱく質の重要性をしっかりお伝えした。</p>
所感	<p>2名の学生は、初めて地域のボランティアに参加したこともあり、興味を持ち、真剣に取り組んでいた。感想はとても楽しかったとのことであったので、良い経験になったと思う。筋肉量は、低栄養にも結び付くところなので、食生活についてもしっかり指導を行うことが出来た。</p>



令和7（2025）年度
地域連携センター活動報告書
（廿日市市との包括的連携協定外の活動）

2026年3月31日発行

発行者 山陽女子短期大学

地域連携センター

広島県廿日市市佐方本町1番1号

電話 0829-32-0909
